

ボランティア体験



■**農業ボランティア**
市内農家の協力で、野菜の苗植えや収穫などを行います。
・レタスの苗植え
・とうもろこしの収穫など

■**フードバンクボランティア**
市が食料支援として実施しているフードバンク事業で、配布する食料の袋詰め作業を行います。

市は、ひきこもりの人の社会参加の第一歩としてボランティア体験を支援しています。いきなり就労を目指すのではなく、地域の活動に少しずつ参加しながら、人と関わる経験や外出の習慣を無理なく段階的に積み重ねることが出来ます。相談員と一緒に、あなたに合った活動を探してみませんか。

相談員から
あなたへ

ボランティア体験では、住んでいる地域の方々とつながり、生活を営む中で社会参加に向けて力を育んでいけるように支援します。小さな成功体験を積み重ねると自信の回復につながります。

「もう一度社会とつながりたい」という皆さんの思いを実現するために一人一人に合わせた柔軟な場を提供していきます。ボランティアとして一歩を踏み出してみませんか。

支援者からのメッセージ 金指恵太さん



杉久保の畑でボランティア体験を受け入れ アクションにつながる入り口になれば

「農業と福祉を連携させたい」という思いから受け入れを始めました。参加者のペースに寄り添い、無理をさせないこと、「あなたは必要な存在」と直接伝えることを大切にしています。社会に出る前のウォームアップのような、何かのアクションにつながる入り口になればと思っています。ただ見に来るだけ、やってみるだけ、話しに来るだけでも大丈夫です。そこから少しずつ畑作業ができるようになって、動ける幅が広がっていく人を見てきました。

私も社会人になる時にうまくいかなかった経験があり、自分もひきこもりになっていたかもしれないという過去があります。同じような人の気持ちに寄り添えたらいいなと思っています。ほんの少しだけ、畑に来てみませんか。

ボランティア 活動先を募集

ひきこもりの人が社会とのつながりを取り戻すきっかけとなる、ボランティア活動の受け入れ先を募集しています。農作業・軽作業・事務補助など、無理なく参加できる活動を軸に、当事者のペースを大切にしながら、温かく見守っていただける団体・個人の方の協力をお待ちしています。詳細は、生活支援課へお問い合わせください。

相談窓口

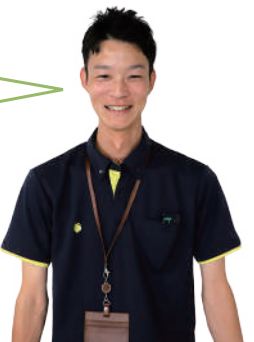


市役所西棟1階の生活支援課に、ひきこもりに悩んでいる人やその家族のための相談窓口を開設しています。

一人で悩まず、お話しに来てみませんか。困っていることを聴かせてください。そして、これからのことを一緒に考えましょう。

あなたが話すペースも大切にします。相談員一同、環境を整えてお待ちしております。

生活支援課
村田達也

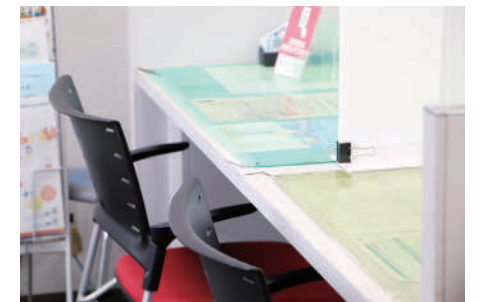


相談の流れ

STEP
1

電話・直接窓口へ

まずはお気軽に電話、または直接窓口へお越しください。当事者だけでなく、当事者の家族からの相談にも対応しています。専門の相談員が丁寧に話を聴きます。



STEP
2

状況整理

相談員が現在の生活状況や困りごと、これまでの経緯などを一緒に整理します。焦らず、当事者のペースで話せる環境を整えています。



STEP
3

支援プラン作成

一緒に整理した状況をもとに、一人一人に合った支援プランを作成します。生活リズムの改善や社会活動への参加、就労体験など、段階的な支援につなげるサポートをします。

